



特集 スポーツ座談会

学校体育 みんなスポクラブと連携で成果
「陽明中相撲部」が団体戦で全国大会出場

P6 P5 P4
寺町通り地区を都市景観形成地区に指定
大野市景観賞の募集
障害者福祉の現状理解を深めよう など



それぞれの“ゴール”目指し

小学校連合体育大会が行われ、12校から789人の児童が参加しました。子どもたちは、自己ベストや目標記録の更新など、それぞれの“ゴール”を目指し、懸命に挑戦していました。

(9月11日 奥越ふれあい公園)



広報紙の概要(携帯版)

<http://www.city.ono.fukui.jp/mb/m-index.html>

学校・連盟・みんスポクラブ関係者が座談会



参集者(左から)：陽明中相撲部顧問本田光仙さん、陽明中教頭遠藤洋子さん、大野市相撲連盟理事長松田伸二さん、みんスポクラブ理事長朝日正幸さん。

競技スポーツと学校体育との連携とは？

陽明中相撲部が団体戦で全国大会出場

八月十八、十九日の両日、青森県十和田市で開催された「全国中学校相撲選手権大会」。この大会に、学校の特設部として活動している陽明中相撲部が団体戦で出場しました。
少子化が進み、学校体育としての部活動存続が難しくなっていく中、陽明中相撲部を例に、競技スポーツと学校体育の現状などを関係者に語ってもらいました。(本文中敬称略)



陽明中教頭
遠藤 洋子さん

遠藤 中学校の学校生活において部活動の意義は大きく、本校でも全員加入を原則とし、生徒たちは意欲的に取り組んでいます。生徒数減少に伴い教員数も少なくなり、部活動の運営も難しくなっていますが、生徒の希望に添えるよう教員も精一杯努力しています。しかし、相撲のように



大野市相撲連盟理事長
松田 伸二さん

教員では技術面の指導が難しいものについては、特設部として「みんスポクラブ」などで専門の方からご指導を受けながら活動しています。今回の快挙もおかげと心より感謝しています。
松田 少子化の影響もありますが、相撲競技を見たり、体

市の取り組み

市では平成十六年二月、明るく豊かで活力ある社会の実現を目指し「スポーツ振興計画」を策定しました。その計画の柱は次の三点です。

- ▼生涯スポーツ社会の実現
- ▼レベルの高い競技者の育成
- ▼生涯スポーツ・競技スポーツと学校体育との連携

計画の核として、総合型地域スポーツクラブの育成を掲げています。現在、みんスポクラブには約三百人が加入。体験できるメニューなど二十二種類あり、レベルの高い競技者育成だけでなく、生涯スポーツとして気軽に楽しむ機会を提供しています。

メニュー内容や参加方法は教育委員会スポーツ課までお問い合わせください。

☎ 教育委員会スポーツ課
(☎ 66・1111内線531)

「来年も団体で出たい」

～出場3選手が抱負～



全国大会を経験した3人の選手に、大会で感じたことを聞きました。「自分と同じくらい小さな体格で、うまく相撲を取っていて勉強になりました（乾力斗君、写真左）」。「初めての全国大会でレベルの高さを感じました（登祐輔君、同中央）」。「チームのムードを盛り上げようと頑張りました（西川翔太君、同右）」。「さらには、「来年も団体で出たい」と意気込みも語ってくれました。

普段から指導にあたり、大会にも同行した乾将勝さんは「自分に足りないものは何か、来年に向けて良い経験になったはず。あとは自分でいかに努力するかだと思います」と話してくれました。



陽明中相撲部顧問
本田 光仙さん

松田 発達に応じた指導方法があり、中学校の三年間ほと

一貫した指導理念に基づく指導が必要だと思っています。

朝日 通常、小学生の時はスポーツ少年団、中学、高校では部活動と、それぞれ指導者が異なります。同じ種目では、縦の連携の中で指導することが重要だと思っています。子どもたちにとっては、

朝日 みんなスポクラブでは、サッカーや陸上など、すでに学校の枠を超えて取り組んでいる種目があります。ほかの種目でも、同様の動きが広がり、結果として一流選手が育てられればと思っています。

本田 顧問の立場として特別
験したりする子どもが少なくなってきたと思います。昔、大野市は3S（相撲、水泳、スキー）が強かった。私は福井国体を経験していますが、次の福井県での開催時に大野市から選手が出ないのは寂しいと思います、子どもたちを教えることになりました。



みんなスポクラブ理事長
朝日 正幸さん

に行っていることはありません。子どもたちの頑張りはもちろん、相撲連盟やクラブの方がとても熱心に指導してくださるので、そのサポートができればと思っています。

とても重要です。そのため自分たちで育てていかなければと思っています。

10月8日 市スポーツ・レクリエーション祭

11回目を迎える「大野市スポーツ・レクリエーション祭」は、日ごろスポーツに親しむ機会のない方にも体験したり楽しんだりしてもらおうと毎年開催しています。子どもからお年寄りまで気軽に楽しめる種目をたくさん用意しています。

◆エキサイト広場内・周辺◆

午前10時～午後3時

- ラージボール卓球—大きなボールを使う卓球です
- バウンドテニス—小さなコートで行うテニスです
- エスキーテニス—羽のついたスポンジボールを打ち合います
- マレットゴルフ—ゲートボールの用具で行うゴルフです
- ペタンク—木製の目標球に向けて金属のボールを投げ合います
- 体カテスト—あなたの体力年齢が測定できます
- 健康チェック—あなたの健康度を測定します

午前10時～正午 ソフトテニス（雨天中止）

※そのほか、ニュースポーツ体験コーナーや太極拳指導などを用意しています

◆総合開会式◆

日時 10月8日(日)午前8時30分～
場所 エキサイト広場

※開会式終了後、太極拳指導あり

◆その他の会場◆

【民謡とフォークダンス】有終会館

午前8時30分～正午

【テニス】奥越ふれあい公園

午前9時～午後3時（雨天中止）

【ボウリング】ギンレイボウル

午前10時～正午（靴・ゲーム代必要）

☎ 教育委員会スポーツ課 (☎66・1111内線531)



「歴史とみどりが息づくやすらぎのまち・寺町」

寺町通り地区

都市景観形成地区に指定

市では、都市景観条例に基づき、寺町通り地区を都市景観形成地区に指定しました。市内での指定は五番通り地区、七間通り地区に次いで三地区目です。

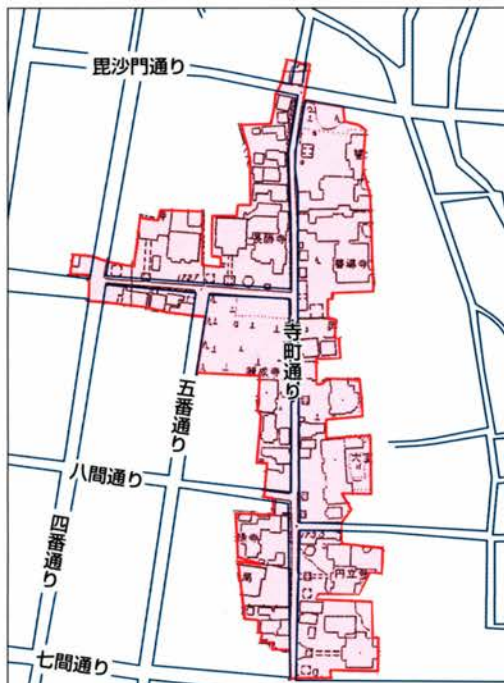
地区内で協定結ぶ

寺町通り地区は、天正年間に金森長近が建設した城下町の風情が残る通りです。寺院が建ち並び、歴史や文化を感じることができます。

その歴史文化遺産や地域の特性を大切にしたまちづくりを進めようと、地区住民による話し合いや市とのワークショップなどが行われてきました。そして七月には、住宅や庭などを改修する際のルールとなる「まちづくり協定」を締結しました。

協定の中では▼白と黒を基調としたまちづくり▼緑豊かな通りづくり▼街灯などの明

対象地区 (約3.1ヘクタール)



かりにも気を配り、夜も美しい通りづくりなど七項目を寺町通りの将来像と定義。まちづくりのキャッチフレーズを「歴史とみどりが息づくやすらぎのまち・寺町」と定め

ました。市では今後、まちづくり協定に適應した景観づくりに助成を行っていきます。

☎ 都市計画課計画景観係
66・1111内線351

都市景観形成地区

大野市都市景観条例に基づき、重点的に都市景観の形成を図る必要があると指定された地区のこと。指定に合わせて策定する都市景観形成基準を基に、景観に適應した新築や増改築を行う際に、市が助成を行います。

大野市景観賞

候補を募集

11月15日まで

魅力あるまちづくりに向け「大野市景観賞」の候補を募集します。大野市景観賞は、優れた景観づくりに貢献している建築物や工作物をはじめ、良好な景観維持に貢献している団体などを表彰するものです。平成九年から始まり、今回で六回目となります。

募集内容

◆建築部門

五年以内に建築された市内

の建築物や工作物、それらが複合する景観などで、次のいずれかの条件を満たすもの
 ▼デザイン、色彩などが周辺環境に調和し、優れた景観

◆活動部門

市内で景観の維持向上に努めている団体など

※具体的な例 ごみ拾いや清掃などの環境美化運動や、まちなみ保全などのまちづくり活動など

応募方法

応募する人の住所・氏名・電話番号・景観の名称・所在

第5回景観賞 受賞作品

←建築部門
長瀬哲也・武英氏所有住宅



建築部門 森永泰充氏所有店舗→



←活動部門 メダカの分校



「大野市景観条例」改正 素案公開と意見募集を実施

市では今年5月、国の景観法に基づく「大野市景観計画」を策定し、景観行政をさらに積極的に進めることとしています。この景観計画に沿って、適正な制限と地域の個性を伸ばす良好な景観形成を図るため、「大野市景観条例」を改正することとなりました。

10月中旬から2週間程度、素案を公開し、意見募集を行います。詳しい内容は市のホームページなどを通じてお知らせします。

素案公開場所 市役所1階行政資料室、3階都市計画課、和泉支所、各公民館
 ※市のホームページでも公開

問 都市計画課計画景観係
 (☎66・1111内線351)



地・選んだ理由を明記し、写真添えて提出。なお、自薦は問いません。
 ・他薦は問いません。
締切 十一月十五日(木)

その他 応募されたものについては、大野市都市景観審

議会にて審査します。審査結果などは、「広報おおの」やホームページで発表
問 都市計画課計画景観係
 (☎66・1111内線351)

大野市景観賞

候補を募集

11月15日まで

魅力あるまちづくりに向け「大野市景観賞」の候補を募集します。大野市景観賞は、優れた景観づくりに貢献している建築物や工作物をはじめ、良好な景観維持に貢献している団体などを表彰するものです。平成九年から始まり、今回で六回目となります。

募集内容

◆建築部門

五年以内に建築された市内

の建築物や工作物、それらが複合する景観などで、次のいずれかの条件を満たすもの
 ▼デザイン、色彩などが周辺環境に調和し、優れた景観

◆活動部門

市内で景観の維持向上に努めている団体など

※具体的な例 ごみ拾いや清掃などの環境美化運動や、まちなみ保全などのまちづくり活動など

応募方法

応募する人の住所・氏名・電話番号・景観の名称・所在

第5回景観賞 受賞作品

←建築部門
長瀬哲也・武英氏所有住宅



←建築部門 森永泰充氏所有店舗→



←活動部門 メダカの分校



「大野市景観条例」改正 素案公開と意見募集を実施

市では今年5月、国の景観法に基づく「大野市景観計画」を策定し、景観行政をさらに積極的に進めることとしています。この景観計画に沿って、適正な制限と地域の個性を伸ばす良好な景観形成を図るため、「大野市景観条例」を改正することとなりました。

10月中旬から2週間程度、素案を公開し、意見募集を行います。詳しい内容は市のホームページなどを通じてお知らせします。

素案公開場所 市役所1階行政資料室、3階都市計画課、和泉支所、各公民館
 ※市のホームページでも公開

問 都市計画課計画景観係
 (☎66・1111内線351)



地・選んだ理由を明記し、写真添えて提出。なお、自薦・他薦は問いません。
締切 十一月十五日(木)
その他 応募されたものについては、大野市都市景観審

議会にて審査します。審査結果などは、「広報おおの」やホームページで発表
問 都市計画課計画景観係
 (☎66・1111内線351)

相談体制充実や就労支援など



現状理解を深めよう

第二次大野市障害者計画も三月策定

近年、障害者を取り巻く環境は大きく変化しています。障害のある方が住み慣れた場所で安心して住み続けるためには、その地域に住むすべての人が障害に対する理解を深め、支え合いの意識を持つことが大切です。現状を正しく理解し、共生社会を実現しましょう。

措置から契約へ そして自立支援

平成十五年、それまで市など行政が障害者に対し決定（措置）してきたサービス内容を、障害者自身が事業者と契約した上で提供を受ける「支援費制度」が導入されました。さらに十七年には、身体、知的、精神の障害別に提供されていたサービスをひとまとめにし、地域で自立した

生活を送ることができるよう支援する「障害者自立支援法」が成立。自己負担割合の変更や自立支援医療は昨年四月から、十月からは障害の程度に応じた障害福祉サービスの提供が始まっています。

計画の概要

市では自立支援法の成立を受けて、平成十二年に策定した「大野市障害者福祉計画」を見直し、今後のサービス必



要量の見込みと確保に向けた方策を示した「第二次大野市障害者計画」を今年三月に策定。障害のある人もない人も、ともにすべての人が生き生きと生活できる社会の実現を目指し、各種施策を推進していきます。

また、次の六項目を基本目標に設定し、「誰もがその人らしく安心して暮らせる福祉のまち」実現を目指します。

- ▼ 広報啓発や地域の支え合い活動の推進
- ▼ 障害のある人の地域での生活支援
- ▼ 障害のある人の社会活動の支援
- ▼ 保健・医療・福祉サービスの充実、連携
- ▼ 障害のある子どもとその家

何げなく止めていませんか？

公共施設など障害者駐車場

～県で利用証発行受付開始～

県では、障害者や高齢者、妊婦などで歩行が困難な方を対象に、県内共通の利用証を発行する制度を10月からスタートします。利用証をお持ちの方は、案内表示看板の設置してある車いす使用者用駐車区画を利用することができます。

申請先 奥越健康福祉センター
(☎66・2076)

※障害者手帳や介護保険被保険者証、母子手帳などの書類が必要です。詳しくは事前にお問い合わせください。

手数料 無料

☎ 県障害福祉課(☎0776・20・0339)

庭への支援の充実
▼障害のある人にやさしいまちづくりの推進

数値目標の設定も

障害者計画の基本目標のうち、「障害のある人の地域での生活支援」については、自立支援法の規定に基づく「障害福祉計画」として位置付け、地域生活への移行や就労支援サービスなど数値目標を設定。

なお、必要なサービス量を見込むに当たっては、新しいサービス体系への移行が終了する平成二十三年度を目標年度として目標数値を設定しています。

数値目標

◆地域生活への移行

【福祉施設の入所者数】
92人(平成17年10月)↓78人(14人減少)

【入院中の精神障害者で退院可能な人のうち、地域生活

に移行を目指す人数】
5人

【福祉施設を退所し、一般就労を目指す人数】
3人

地域生活支援の中身

自立支援法で定められている地域生活支援事業の種類と内容を紹介します。

▼相談支援

障害のある方やその家族からの相談に応じ、自立した日常生活が送られる手助けをします。社会福祉課内に設置した「障害者相談支援センター」に、身体、知的、精神の専門の相談支援専門員三人を配置しています。

▼移動支援

屋外での移動が困難な方に外出の支援を行います。個別支援とグループ支援の方法があります。

▼日中一時支援

障害のある方が日中活動できる場を確保し、家族の就労支援や介護に対する一時的な休息を目的に実施しています。

▼日常生活用具給付等

日常生活の便宜を図るため、必要な自立生活支援用具

～障害者相談支援センターから～

まずは気軽に相談を

市では相談体制の充実を図るため、身体、知的、精神の3障害に分かれていた相談窓口を一つにした「障害者相談支援センター」を、昨年10月、社会福祉課内に設置しました。障害者相談支援センターでは、それぞれの障害に対応する相談支援専門員を配置し、相談業務に当たっています。

相談支援専門員は、毎週行っているケース連絡会で情報を共有しながら、中立・公正な立場でサービス内容、就労や余暇の過ごし方など、さまざまな相談に応じています。

市役所に来られない場合は家庭訪問も行っています。まずは気軽にお問い合わせください。

☎ 大野市障害者相談支援センター (☎69・1600)

などの日常生活用具の給付または貸与を行います。

生産活動の機会の提供、社会との交流の促進などを提供します。地域活動支援センター

▼コミュニケーション支援

聴覚や視覚などの障害のため、意思疎通を図ることに支障がある方に、手話通訳者や要約筆記者の派遣などを行います。社会福祉課内に手話通訳者を一人配置しています。

※そのほか、社会参加促進や生活サポート、成年後見制度利用支援、訪問入浴などの事業を実施しています。

▼地域活動支援センター

☎ 社会福祉課社会福祉係
(☎66・1111内線471)

大野市訪中団が友好

寧波市など視察

大野市日中友好協会が主催する「第十一回中国浙江省寧波市訪中事業」に、市長を団長とする訪中団三十六人が参加しました。訪中団は八月五日から九日にかけて、市とながりの深い浙江省寧波市とその周辺都市を視察。経済発展目覚ましい中国の現状をお知らせします。

活気あふれる寧波市

当市と寧波市のつながりは古く、七百年余り前に寂円禪師が宝慶寺を開山したことに始まります。寂円は永平寺を開いた道元禪師を慕い、中国から海を渡って来ました。道元と寂円が修行していたのが、現在も寧波市にある天童寺です。

寧波市との交流は昭和六十二年、大野市日中友好協会が「寂円禪師里帰り訪中団」を派遣したのが始まりです。そ

れ以降、経済・文化・スポーツなどの各分野で交流を深めてきました。

寧波市は、面積九三六五平方キロ、人口約五百四十万人。上海の南に位置する天然の良港に恵まれた浙江省第二の都市です。周辺都市を含め、経済発展に支えられ、都市全体が活気にあふれています。

日本産米がブーム

今回の訪中で人民対外友好

協会の郭会長から「大野市との縁を大切に思い、継続的な交流を」との思いが伝えられました。また当市からは、観光地としてはもちろん、修学旅行の海外候補地として大野市をPRしました。



寧波市の位置

訪中を振り返って

市長 岡田 高大



私は、大野市日中友好協会が、宝慶寺開祖寂円禪師生誕800年を記念して行いました「第11回中国浙江省寧波市訪中事業」に参加し、浙江省寧波市の天童寺や周辺の都市を訪問しました。

寂円禪師が修行された、開山以来1200年余りの歴史を誇る名刹の天童寺では、現住職の誠信方丈様の「仏教の目標は世界の恒久平和であり、天童寺も貢献したい」とのお言葉に感銘を受けました。

今回の訪中には、「中国沿岸地域の発展状況を視察すること」、「宝慶寺と天童寺の関係で縁がある寧波市と大野市との間で、今後どのような交流が必要かということ」、「大野産米コシヒカリの中国での販路開拓の可能性を探ること」の3点のテーマをもって臨みました。

経済成長著しい中国では、食の安全・安心への関心が高まり日本のコメは人気があること、コメの販路開拓の可能性を確認できたことは、今回の大きな収穫でした。中国へのコメの輸出を積極的に進めることが、コメの転作面積の緩和につながり、生産者の励みにもなると考えますので、今後、国に対しコメの積極的な輸出政策を要望してまいります。



郭会長(前列右)と会談する岡田市長

今、中国では富裕層を中心に日本のコメがブームとなっており、中国という大市場への輸出を積極的に進めることで、日本の農業の新たな展開が期待できるといわれています。

このようなことも視野に入れながら、市では、文化交流を中心に経済や人の交流を進めていく予定です。

第28回大野市美術展

5部門で235点展示

八月二十四日から二十六日にかけて「第二十八回大野市美術展」が有終会館で開催されました。

洋画、日本画、彫塑工芸、書道、写真の五部門に、市内外から二百三十五点の出品があり、入賞二十五点と奨励賞五十四点が選ばれました。また、県立美術館所蔵のピカソ、ゴーギャン、シャガールの作品も同時展示され、訪れた人たちは熱心に見入っていました。

市内入賞者（敬称略）

〔洋画〕

市長賞 堂坂弥栄子
教育委員会賞 風林敏子
文化協会賞 松村秀彦
福井新聞社賞 木村三恵子

〔日本画〕

教育委員会賞 奥島美風
FBC賞 福岡道夫

〔彫塑工芸〕

市長賞 乾清子
文化協会賞 小島尚



福井新聞社賞 中村友子
FBC賞 皆藤俊雄
FBC賞 正津侑子

〔書道〕
市長賞 稲葉青寿
教育委員会賞 猪野祥虹
文化協会賞 山岸慧流
福井新聞社賞 大久保祥珠
福井新聞社賞 中村竹映

〔写真〕
教育委員会賞 高橋昌亨
文化協会賞 豊嶋弘
福井新聞社賞 上山明美



県立美術館 芹川貞夫総括学芸員による解説

無鑑査委員特別賞（日本画）

中村鐵遷

問 教育委員会文化課

☎66・5410

湧水保全フォーラム全国大会

10月30日開催



名水きらりちゃん

当市は古くから地下水が豊富で、清らかな湧水に恵まれて発展してきました。その湧水をこれからも守り伝えていくためには、河川や自然環境の保全活動はもちろんです、市民生活にいたるさまざまな分野での取り組みが必要です。

名水を活かした水先案内実行委員会では、全国の湧水保全に関する活動を学び、その取り組み状況を全国に発信するとともに、市の湧水を未来の子どもたちに残すため、「湧水保全フォーラム全国大会in越前おおの」を開催します。

日程 十月三十日(火)
場所 学びの里「めいりん」
当日のタイムスケジュール
▼午前八時四十五分 開会
▼九時 基調講演
講師 竹村公太郎氏（財団法人リバーフロント整備センター理事長）
演題 水辺と子どもたちの心
▼九時四十五分 足羽川堰堤
土地改良区連合、県立福井

農林高校による特別発表
▼十時十分 月光川の魚出版会、五泉トゲソの会、市立有終西小学校、岐阜県立大垣東高校、水みち研究会による取り組み発表
▼十一時三十五分 「残そう未来の子どもたちへ」をテーマに、パネルディスカッション

※午後はポスター発表あり
申込方法 往復はがきの往信部裏面に郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を、返信部表面に返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し送付
※返信部裏面は記入しない
※抽選により参加者を決定
※一人につきはがき一枚使用
締切 十月十日(※消印有効)
申込・問合せ先 〒912-1866 大野市天神町1-1 大野市役所環境衛生課
☎66・1111 内線542